

せんがくず新聞

リコー
DesignCenter



編集・制作：梅澤朝樹

発行日：2006年10月29日

第17号



3試合連続
キャッチャー宗像



味方のミスにも
踏ん張る小幡



先頭打者HR
かいたならず佐藤純



秋季IDリーグ 1勝2敗! 1部昇格ならず!



応援はリーグ1位!
黄色すぎる声援!!



**矢野、好投するも、
相手四番打者の一発にやられる!**

午前9時に開始した一回戦は、完敗に終わった。先発の矢野は、序盤から低めに速球をきめ、調子が良かった。しかし初回、味方のミスなどでランナーを出すと、相手打者四番にスリーベースを放たれる。次の打席も相手四番打者にスリーベースを打たれ、大差をつけられてしまう。

せんがくず打線は、GK投手に手も足も出ない。ヒットは遠山と三木の2本のみに終わった。

試合終盤には、試合中にも関わらず、応援団の萬羽がグラウンド内を横切り、ベンチに参戦するが、ちよつと試合終了となってしまう。初戦は黒星スタートとなった。

**守備のミス続きでリズム作れず!
堀口初ホームランで初得点!**

二試合目は何度も練習試合をやっているライバル日立。総企室の小幡を先発に勝利をねらう。先発小幡は相手打線を圧倒するが、守備のミスが多すぎた。小幡の好投もむなしく、毎回得点を与えてしまう。

打線の沈黙をやぶったのが、この試合十番に入った堀口だった。打球はセンターの頭上を越え、自身初となるホームラン。ベンチは、まるで勝利したかのような大盛り上がりを見せる。

しかし、得点したにも関わらず、守備でリズムを作ることができなかった。せんがくずは二敗目を記し、一部昇格の可能性は絶たれてしまった。

**梅澤最後までふんばる!
全員野球で声援に応えた!**

三試合目は、大応援団の中始まった。初回は梅澤の好投で相手打線を三人におさえる。すると打線はすぐさま応え、比留間、小幡、堀口、宗像のヒットであっさり四点を得点する。ベンチは一体となり、最後の最後で最高の勝利を手にすることができた。

打ち上げでは梅澤がつかぬ、記憶のないままの帰宅となったので、この場を借りて御礼を言いたいと思います。今回応援はリーグ一位でした。わざわざ足を運んでいただき、本当にありがとうございました。選手としても、最後の最後で応援に応えられたので、嬉しかったです。

打者	打数	安打	打点	本塁打	通算	打率
(八) 佐藤	2	0	0	0	.000	
(四) 遠山	2	1	0	0	.500	
(六) 梅澤	2	0	0	0	.000	
(一) 矢野	2	0	0	0	.000	
(二) 宗像	2	0	0	0	.000	
(三) 三木	2	1	0	0	.500	
(七) 堀口	2	0	0	0	.000	
(五) 比留間	1	0	0	0	.000	
(九) 奥田	1	0	0	0	.000	
(DH) 佐々木	1	0	0	0	.000	
(DH) 島山	0	0	0	0	.000	
合計	17	2	0	0	.117	

打者	打数	安打	打点	本塁打	通算	打率
(DH) 吉越	3	1	0	0	.333	
(四) 遠山	3	0	0	0	.000	
(六) 梅澤	2	0	0	0	.000	
(五) 矢野	3	1	0	0	.333	
(一) 小幡	2	1	1	0	.500	
(八) 佐藤	2	0	0	0	.000	
(七) 島山	1	0	0	0	.000	
(二) 宗像	2	0	0	0	.000	
(三) 三木	2	1	0	0	.500	
(九) 堀口	2	1	1	1	.333	
合計	21	5	2	1	.238	

打者	打数	安打	打点	本塁打	通算	打率
(八) 佐藤	2	0	0	0	.000	
(四) 比留間	2	1	0	0	.500	
(一) 梅澤	1	0	0	0	.000	
(六) 矢野	2	1	1	0	.500	
(五) 小幡	2	1	1	0	.500	
(七) 島山	1	1	1	1	1.000	
(九) 堀口	2	1	1	0	.500	
(二) 宗像	2	1	1	0	.500	
(三) 三木	2	0	0	0	.000	
(DH) 遠山	2	0	0	0	.000	
(DH) 奥田	1	1	0	0	1.000	
(DH) 佐々木	1	1	1	0	1.000	
合計	20	8	6	0	.400	

投手	G	K	リコー
	3	3	0
	0	0	0
	0	0	0
	4	0	0
合計	10	0	0

投手	日立	リコー
	2	0
	1	0
	1	1
	1	0
	2	0
	X	0
合計	7	2

投手	リコー	NEC
	4	0
	1	0
	1	2
	0	1
	X	1
合計	6	4